

広報



## この手で作るオンリーワン

第14回「あじさい手作り工芸まつり」が、6月2日に中央公民館で開催されました。館内には各種手作り工芸品の展示販売ブースのほか、町の味覚を楽しめるお店も数多く並び、町内外からの大勢の来場者でにぎわいました。オリジナル作品を作れる体験コーナーでは、多くの方が自分だけの作品づくりに夢中になっていました。



特 **ぐるり60年**  
集 ~町誕生60周年&広報おおえ700号~

令和元年

6

No.700



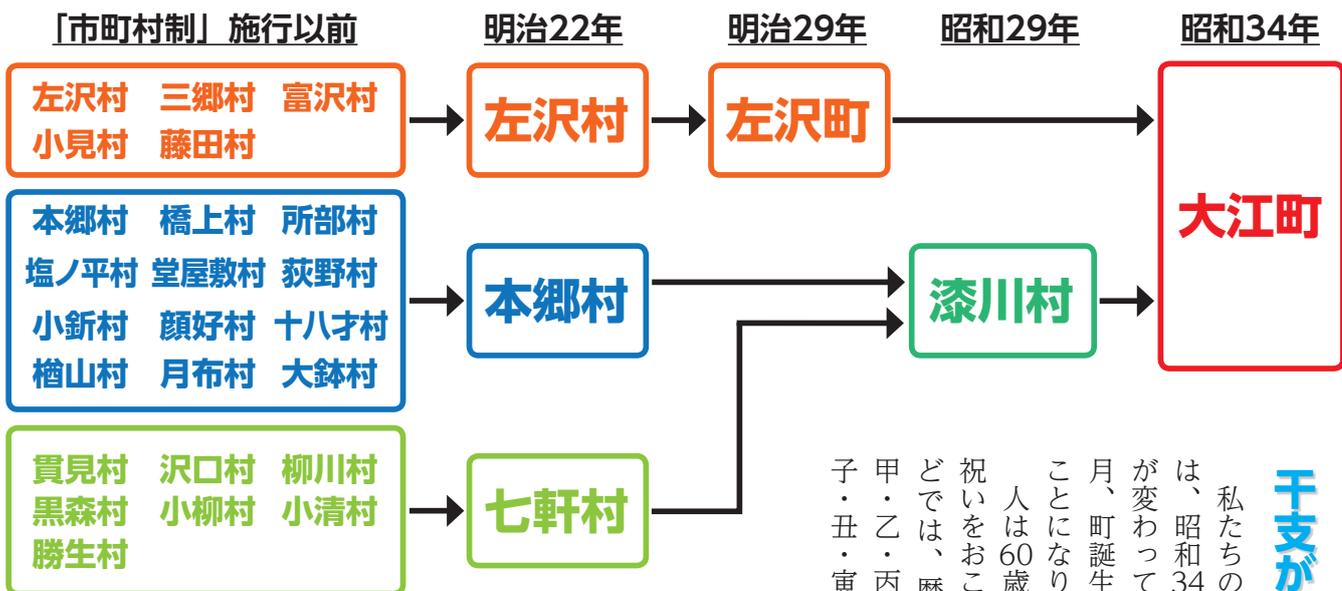
# ぐるり60年

～町誕生60周年 & 広報おおえ700号～

元号が平成から令和に変わった今年、私たちの町は誕生から60周年という大きな節目を迎えます。そして、節目の数字がもう一つ。60年前から皆さんにご愛読いただいている「広報おおえ」が、今月でちょうど700号目となりました。

不思議な巡り合わせによって、区切りとなる数字が重なった今年。この機会に、町と広報紙の60年間の歩みを、皆さんと一緒に振り返ってみたいと思います。

## 大江町誕生までの流れ



### 干支がぐるり1回り

私たちの町・大江町が誕生したのは、昭和34年8月20日のこと。元号が変わって令和元年となった今年8月、町誕生からちょうど60年が経つこととなります。

人は60歳を迎えると「還暦」のお祝いをおこないます。日本や中国などでは、暦の上で年を表すときに甲・乙・丙……と続く「十干」と、子・丑・寅……と続く「十二支」の

組み合わせである「干支」を用いる表し方があり、この干支がちょうど一周することを還暦といいますが、今年（昭和34年）と同じ「己亥」であり、私たちの町もめでたく還暦を迎えたということになります。

### 大江町が誕生するまで

私たちの町が生まれたのは、時代の流れとともに数々の合併を経た末のことでした。明治22年以降、左沢町（明治29年まで左沢村）、本郷村、七軒村の1町2村が続いてきましたが、昭和29年に本郷村と七軒村が合併して「漆川村」が成立。その後、左沢町と漆川村の合併により現在の大江町が生まれました。

### 60周年記念企画の数々

新しい町は、当時の山形県知事・安孫子藤吉氏により「百川衆沢 尽く一大江に帰する」という意味で「大江町」と名付けられました。これは、町内を流れる最上川の雄大な流れをイメージしたものだといわれています。また、中世に現在の町内一帯を治めていた大江氏を連想させる名前でもあり、下流にいくにつれて広がりが増す川のように、限りなく成長発展していく将来への希望をも込めた町名となりました。

町誕生60周年の節目に当たって、町では今年、さまざまな企画を予定しています。5月にはさっそく、町誕生60周年記念ロゴマーク入りの西山杉製デザインコースターが作成され、町内のイベントなどで配布されています。

今後、NHKのラジオ番組「真打ち競演」の公開収録が6月21日にある。あいち会館でおこなわれるほか、絵本作家の土田善晴氏によるブックチャンを題材にした絵本制作、町の食材を使った料理コンテスト、町の特産品を利用した特別給食の提供などが予定されています。



▲町誕生60周年記念ロゴマークの入った西山杉製のコースター。今年の大山自然公園ユリまつりでは、このコースターに名前を入れたり、オリジナルデザインを施したりできるウッドバーニング体験コーナーも設けられました

# 昭和の大江30年

昭和

34年

左沢町と漆川村が合併して大江町が誕生  
「大江町報」(現在の「広報おおえ」)第1号発行

37年

楯山公園に最上川舟唄碑建立

40年

上水道供給開始

41年

町内全小学校で給食開始

42年

羽越水害発生

44年

町章制定  
役場新庁舎落成

46年

第1回大江町文化祭開催

47年

用簡易水道供給開始  
中央公民館落成

50年

集落移転団地「下毛原区」開村



羽越水害



役場新庁舎落成



上水道供給開始

昭和34年に大江町が誕生してから昭和63年まで、本町の歴史のちょうど半分にあたる30年間は昭和の時代でした。

新しい町の成立から1ヵ月後の9月20日、初の町長選挙がおこなわれ、松田兄次郎氏が初代町長に就任しました。その後、9月24日には初の町議会議員選挙を実施。28日に開かれた初めての町議会で高橋四郎氏が初代議長に選出され、町の行政と議会が本格的に始動しました。

現在の役場庁舎が完成したのは、昭和44年9月のこと。町を表す町章も、この年に制定されました。水道や道路、橋といったインフラのほか、公共施設、住宅団地など、現在まで続く町の基盤の多くが整備され、新しい町の礎がしっかりと築かれたのが昭和の時代といえます。

教育環境に目を向けると、昭和51年4月に左沢中学校と本郷中学校、七軒中学校が統合され、大江中学校が開校。その後、三郷小学校、本郷西小学校、左沢小学校の校舎が新しく建築されました。また、昭和60年には左沢高校の現校舎が完成。新しい時代の教育に対応するための環境が整えられました。

わが町が誇る文化の一つ「最上川

63年	古寺緑地休養施設整備
62年	ニュータウン柏陵住宅団地分譲
61年	左沢小学校新校舎完成
60年	左沢高校新校舎完成
59年	本郷西小学校新校舎完成
58年	NHK朝の連続ドラマ「おしん」ロケ実施
57年	三郷小学校新校舎完成 第1回最上川舟唄大会開催
56年	月が丘住宅団地分譲 老人福祉センター柏陵荘オープン
55年	総合体育施設町民野球場完成
53年	用地区で海牛化石発見 (後に「ヤマガタダイカイギュウ」と命名) 沢口地内に克雪管理センター完成
52年	スーパ―農道に大江大橋完成 集落移転団地「山崎区」開村
51年	大江中学校開校 月布川流域で水害発生(8・6水害)



NHK連続ドラマ「おしん」ロケ



ヤマガタダイカイギュウ発見



大江中学校開校

舟唄」の普及のため、初めて舟唄大会が催されたのが昭和57年10月。以来、全国から集った数多くの出場者が舟唄を唄い継ぎ、今月23日に開催される大会で37回目を迎えることとなります。

また、昭和53年8月には用地区で「ヤマガタダイカイギュウ」の化石が発見されました。発見当時はクジラの化石と思われていましたが、海牛類の進化を解き明かすうえで、非常に価値ある貴重な化石であることが後に判明。発見から40年目を迎えた昨年には、山形県立博物館でプライム企画展が催されました。

メディア露出において特筆すべき出来事があったのは、昭和58年。NHK朝の連続ドラマ「おしん」のロケが本町でおこなわれました。感動的なドラマはブームを巻き起こし、本町の全国的な知名度向上につながることになりました。

そして忘れてはならない昭和の出来事として、数々の大規模災害があります。昭和42年8月の羽越水害、昭和51年8月の8・6水害は、町内の広範囲に大きな被害をもたらしました。これらの災害の教訓は後々まで語り継がれ、現在の町の災害対策に生かされています。

# 平成の大江30年

平成

元年

大江町民歌制定  
大井沢トンネル開通

2年

七軒東小学校新校舎完成

3年

町民ふれあい会館オープン

4年

藤田工業団地造成事業完成  
本郷東小学校新校舎完成  
べにばな国体デモスポ行事家庭婦人バレーボール大会開催

5年

大江パークタウン「若原区」開村

6年

町の鳥（ヤマセミ）と町の魚（サクラマス）制定

7年

七軒西小学校新校舎完成  
奥おおえ柳川温泉オープン  
テルメ柏陵健康温泉館オープン

8年

町公式ホームページ「旬のまち大江」開設

9年

主要地方道大江西川線本郷バイパス開通  
総合福祉施設らふらんす大江開所

10年

ニュータウン蛍水団地「蛍水区」開村  
道の駅おおえオープン



べにばな国体デモスポ行事開催



町民ふれあい会館オープン

平成という元号が始まった平成元年は、町誕生30周年の節目の年でもありました。現在、各種行事などで歌われている町民歌はこの年に制定。また、町産の酒米を使用した地酒「大江錦」が発売されたのもこの年です。町の鳥・ヤマセミと、町の魚・サクラマスという2つのシンボルが選ばれたのは、平成6年のこと。平成の時代にふさわしい、町の新たな「カラー」が固まりつつあった時期といえるでしょう。

平成11年までの間に、ふれあい会館、体育センターといった大きな公共施設、そして奥おおえ柳川温泉とテルメ柏陵健康温泉館の2つの温泉施設が完成しました。その後、主要地方道大江西川線本郷バイパスや、新しい最上橋なども開通しています。これらの施設やインフラは、現在の町民の皆さんの生活に欠かせないものとなっており、平成の前半期は町の「今」に直接つながる要素が出来上がった時期だということもできそうです。

平成に入ってから情報は通信技術が飛躍的に向上するとともに、携帯電話やインターネットが劇的に普及し、私たちの生活にも情報化の波が押し寄せました。町では平成8年9

30年 まちなか交流館「ATERA」オープン

28年 新中央公民館・町立図書館「ぷくらす」オープン

27年 山里交流館「やまさあーべ」オープン  
藤田地区住宅団地分譲開始

26年 7・9豪雨災害発生

25年 「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」国の重要文化的景観に選定  
7・18豪雨災害発生

23年 光ファイバー通信サービス提供開始  
東日本大震災発生  
主要地方道大江西川線柳川バイパス開通

21年 左沢楯山城跡国指定文化財に指定

18年 きらりタウン美郷分譲開始

15年 みなみ団地「みなみ区」開村  
新「最上橋」開通

14年 JR左沢駅新駅舎落成

13年 公共下水道供用開始

11年 体育センター完成



新「最上橋」の建設



「ぷくらす」オープン



7・18豪雨災害



柳川バイパス開通

月に初めて公式ホームページを開設し、さらに、平成23年から町内全域で高速通信を利用可能にする光ファイバー通信サービスの提供を開始。情報化社会に対応することで、生活の利便性向上と各種産業のさらなる発展への可能性を生み出しました。

その一方、少子化の影響により小学校の休校・閉校が相次いだのも平成に入ってからです。平成24年3月の三郷小学校休校をもって、町内の小学校は2校となりました。しかし、旧七軒西小学校をリノベーションした山里交流館「やまさあーべ」が平成27年4月にオープンするなど、学校施設を生かした新しい試みも進められています。

そして未だ記憶に新しい、平成23年3月11日の東日本大震災。町内でも停電や断水、燃料不足が発生したほか、柳川温泉の源泉の自噴がストップするなど、町民生活に多大な影響を及ぼしました。さらには、平成25年・26年と2年連続で発生し、広範囲にわたって甚大な被害をもたらした豪雨災害。平成もまた、災害と無縁の時代とはなりませんでしたが、平成29年に防災行政無線が運用開始されるなど、災害情報をいち早く提供する体制が整えられています。

# 700号の足跡を追う



▲昭和34年10月5日発行「大江町報」。町の広報の記念すべき第1号です。松田兄次郎初代町長のあいさつに始まり、町議会議員や役場内機構の紹介、豊作を喜び農家の皆さんの表情など、新しい町の発展への希望に満ちあふれた内容となっています

## 町の発展と共に歩んだ広報

大江町誕生から約2カ月後の昭和34年10月、新しい町の広報紙が初めて町民の皆さんの手元に届けられました。当時のタイトルは「大江町報」。タブロイド判4ページで発行された広報第1号の紙面には、新しい町の体制と町民の生き生きとした姿、そして将来にわたって発展していく町への大いなる期待が込められていました。

それから現在に至るまで広報おおえは発行され続け、ちょうど60年が経った今年、奇しくも今月号で700号という節目を迎えることになりました。

これまでの60年間に起こったさまざまな町の動きは、広報紙上でも大きく取り上げられてきました。役場庁舎や学校校舎などの建設、産業振興のための各種事業、町や地域の行事など、その時々町の姿をリアルタイムに伝え続けた写真や記事の数々は、今では町が歩んできた歴史そのものといえるものになっています。

また、町民の皆さんの町へのご意見や、町づくりに対するそれぞれの思いが克明に記されており、時代ごとの町の雰囲気を知るための貴重な記録にもなっています。

## それぞれの時代を映し出す

町の広報紙は、時代と共にその姿を何度も変えながら今日まで続いてきました。昭和36年1月に発行された

第8号で、さっそく最初の大きなリニューアルを遂げています。規格はB5判の横型、8ページ構成となり、

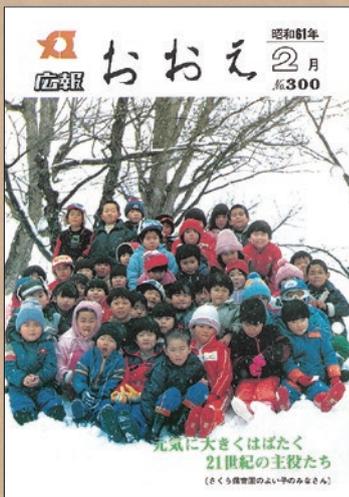
表紙でたどる広報おおえ60年の歩み



▲第242号（昭和56年4月）



▲第8号（昭和36年1月）



▲第300号（昭和61年2月）



▲第40号（昭和39年4月）

紙のサイズやデザインなど  
レイアウトに合わせて広報  
紙のサイズやデザインなど

紙デザインを刷新。一般の  
方から寄せられた多数のデ  
ザインの中から「広報おお  
えロゴマーク」が選定され、  
現在に至るまで表紙を飾り  
続けています。

その後、昭和42年4月発  
行の第76号からはB5判縦  
型に。昭和56年4月に発行  
された第242号では、昭  
和44年に制定された町章が  
初めて表紙の中に登場しま  
した。

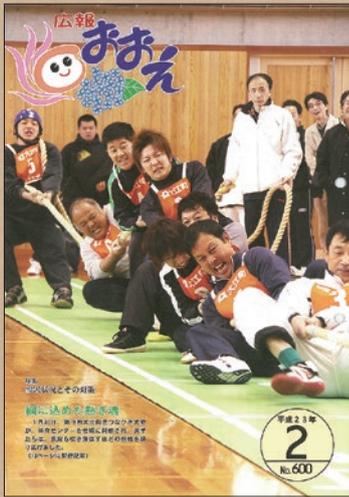
紙面サイズが再び変更さ  
れたのは、平成6年の新年  
号となった第395号。A  
4サイズ、表紙・裏表紙カ  
ラー刷りという、現在の広  
報おおえと同じ規格になり  
ました。平成14年には、第  
500号到達を記念して表

が様変わりしていったこと  
が分かります。そして表  
紙や記事のタイトルの字  
体、「ですます調」「であ  
る調」といった言葉づかい、  
記事の中で使われるイラス  
トの画風などに注目すると、  
子どもから大人まで多くの  
方に分かりやすく伝えるた  
めの試行錯誤の跡を見て取  
ることが出来ます。

紙面サイズが再び変更さ  
れたのは、平成6年の新年  
号となった第395号。A  
4サイズ、表紙・裏表紙カ  
ラー刷りという、現在の広  
報おおえと同じ規格になり  
ました。平成14年には、第  
500号到達を記念して表

紙面サイズが再び変更さ  
れたのは、平成6年の新年  
号となった第395号。A  
4サイズ、表紙・裏表紙カ  
ラー刷りという、現在の広  
報おおえと同じ規格になり  
ました。平成14年には、第  
500号到達を記念して表

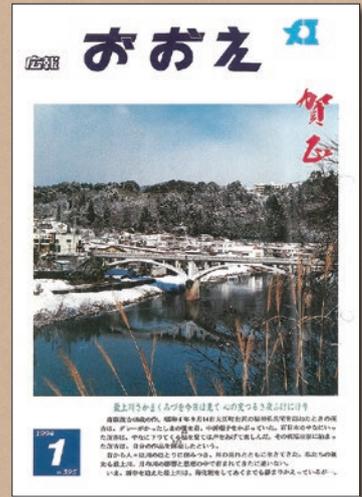
紙面サイズが再び変更さ  
れたのは、平成6年の新年  
号となった第395号。A  
4サイズ、表紙・裏表紙カ  
ラー刷りという、現在の広  
報おおえと同じ規格になり  
ました。平成14年には、第  
500号到達を記念して表



▲第600号（平成23年2月）



▲第530号（平成17年4月）



▲第395号（平成6年1月）



▲第699号（令和元年5月）



▲第555号（平成19年5月）



▲第500号（平成14年10月）

# これからの広報紙の姿とは

広報おおえ第3000号となった昭和61年2月号の記事には、町の広報紙の役割として「行政の内容を広く

町民に伝える広報」、「町民の行政に対する意思をくみとる公聴」、「町民と行政の潤滑油」の3つが挙げられています。現在においても、市町村の広報紙の役割は基本的には変わっていないと考えられます。

しかし時代が進み、広報紙に求められる機能が少しずつ変わってきていることも確かです。特に若い世代を中心に、日常生活における主な情報源が、新聞や雑誌などの紙媒体から、いつでも気軽に見ることでできるウェブサイトへと移行しています。こうした状況の中で多くの方に読み続けていただくためには、ひと目で「読んでみたい」と思えるようなデザインにするなど、これまで以上に親しみ

やすい紙面を作ることが必要になってきています。

また、今ではほとんどの自治体の広報紙がウェブサイトで閲覧できるようになっています。これによって、町外の方が町の広報紙を目にする機会も増えました。これからの広報紙は、全国の方々に町をPRする媒体の一つとして活用されるかもしれません。

新しい時代に対応していくためには、これまで700回にわたって発行されてきた広報おおえの良質な部分を引き継ぎつつ、時には劇的な変化も必要になります。しかし変わらないのは、町の姿、町民の皆さんの活発な生き様を映し出し、いつまでも伝え残していくということ。より広く親しまれる広報紙を作っていくために、皆さんからご協力いただきながらこれからも進化を続けていきます。



広報委員長  
菊地邦弘さん  
(9区)

町誕生から60年という節目を迎えました。人口が大きく減少している近年の状況は、かつてのにぎわいを考えるとさみしくもあります。人が少ない、というのはあらゆる面に影響を及ぼす問題なので、斬新な婚活イベントや結婚・子育ての支援事業など、少しでも人を呼ぶ、人を増やす方法を町民全員で考えていく必要があります。

町と共に歩んだこれまでの「広報おおえ」を振り返ると、各時代に応じた

紙面づくりをしてきているのが分かります。特に写真は視覚に直接訴えかけるものであり、人によって感じ方も違うので、広報紙の中でも大変重要な役割を持っています。これからも、写真の撮り方に工夫を凝らして欲しいと思います。

将来の広報紙の姿としては、子どもや高齢者など、さまざまな世代が町への思いを語る「住民参加型」の広報紙も良いのではないのでしょうか。



副委員長  
菊地政輝さん  
(1区)

今年はさまざまな60周年記念企画があり、これをきっかけに町ができた経緯などに改めて興味を持ってくれる方が多いのではないかと思います。

町民の皆さんにとって、町内の行事の様子や各種手続きなど、町の広報紙でないと分からない情報が多くあります。いわば刺身のツマのようなもので、目立たなくても必要なモノ。これからも、大切な情報を分かりやすく届けてくれる広報であってほしいです。



磐田彰子さん  
(小漆川)

町立図書館には、以前の「広報おおえ」を読みたいという方がよくいらっしゃいます。それは広報紙にしか載っていない記録があるため、町の流れが見える貴重な資料だということを実感します。また、私たちにとって身近な人が表紙に登場するなど、町民との距離の近さも魅力ですね。ひなまつりなどでは色彩が伝わるカラー写真を活用して、今後も町の素晴らしいところを伝えて続けてほしいです。



鈴木義紀さん  
(下北山)

小さいころからスポーツをやってきたので、「広報おおえ」で町内のスポーツを取り上げてもらえるとうれしく思います。町民の皆さんも、身近な話題が載っていると面白く読めるのではないのでしょうか。また、子どもたちのがんばりや活躍を取り上げてもらえるとうれしく思います。子どもたちが町を好きになり、ずっとこの町に住んでいたいと思えるような広報紙を作ってほしいですね。



橋本彩子さん  
(伏熊)

この町に移住したばかりのころ、町について知るための主な情報源が「広報おおえ」でした。町のいろいろな方の話題が載っていますし、特集でもさまざまなテーマについて詳しく書いてあるので、今も面白く読んでいます。

今後、より多くの町民の方にスポットを当てて、それぞれの物の見方や思いを幅広く取り上げてもらえたら、皆さんが町全体にさらに注目してくれるのではないかと思います。

# 広報委員の皆さんからの声 町誕生60周年・広報おおえ700号到達に寄せて

町では、町民の皆さんを代表して5名の広報委員の方々に町の広報に対するご意見・ご助言を頂きながら、紙面作りをおこなっています。このたび町誕生60周年・広報おおえ700号到達にあたり、それぞれの思いを語っていただきました。今後、より良い広報紙作りを進めていきます。



# 1 ■いくつになっても夢を持って ～ぶくらすカレッジ開講式～

おおえ町民大学「ぶくらすカレッジ」の開講式が、5月19日に中央公民館で開かれました。今年度のぶくらすカレッジは、「どきどき学部」「わくわく学部」「いきいき学部」の3つの学部で、全13講座が開講されます。

今回の開講記念講演の講師は、青森市出身の鷹匠・松原英俊さん。小型のタカであるハリスホークと大型のイヌワシを披露し、自然や動物と暮らす中での貴重な体験を語りました。講演後はハリスホークによる鷹狩りの実演をおこない、来場者はその迫力に驚きの声をあげていました。



# 2 ■泥まみれでも楽しい！ ～大江中学校1年生田植え体験～

大江中学校1年生の生徒58人が、5月23日に森ノ宮公園付近の水田で田植え体験をおこないました。この体験学習は、米飯給食提供が昨年始まったのを機に、生徒たちに自分たちの食べる米作りを体験してもらおうと実施しているものです。

この日はJAさがえ西村山青年部の皆さんなどの協力により、約3,700平方メートルの水田で、手植えと田植え機の試乗を実施。裸足で田んぼの中に入った生徒たちは、柔らかい泥の感触に戸惑ったりはしゃいだりしつつ、一つひとつ丁寧に苗を植えていました。

ご存知  
でしたか？

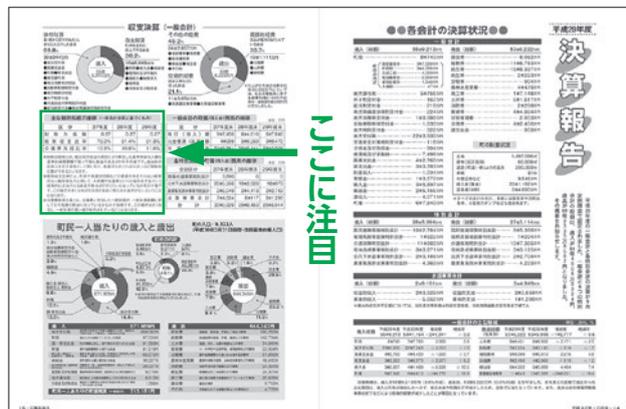
## 本町の財政の柔軟性は県内トップクラスです！

### 本町の財政指標(平成29年度一般会計収支決算)

経常収支比率 : 81.3% (県内第1位)

実質公債費比率 : 3.9% (県内第2位)

※いずれも少ない方が健全とされています。かつこの順位は少ない方から数えたものです。



▲平成30年10月号掲載の平成29年度決算報告。経常収支比率などの財政指標は、左のページ中段に記されています

県が公表した県内35市町村の平成29年度決算に基づく財政状況のまとめによると、本町の経常収支比率は81.3%で県内で最も少なく、実質公債費比率は3.9%で2番目に少ない数値でした。

経常収支比率とは、町税や普通交付税などの毎年の収入に対して、人件費や公債費といった毎年必要になる支出がどれくらいであるかという割合を示すものです。この値が小さいほど、自由に使えるお金が多いということになります。

実質公債費比率は、収入に対する実質的な借金返済額の割合を示す値で、大きくなるほど一般財源の使い道が制約されていることになります。

本町におけるこれらの財政指標が県内他市町村に比べて非常に良好であることは、本町の財政の柔軟性が保たれ、新たな事業などが必要となった際にもスムーズに実行することが可能であることを示しています。

今後とも健全な財政運営に努め、充実した町づくりをいっそう推し進めていきます。

町では、皆さんに町の財政がどのように運営されているかを知っていただくため、年2回（上半期、下半期）定期的に財政状況をお知らせしています。今回は、平成31年3月末現在の平成30年度予算執行状況と町債（借入金）残高の状況をお知らせします。  
※決算確定額ではありません。

# まちの 財政 状況

## ◆一般会計の予算額

(単位：千円)

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予算現額
4,801,000	365,400	110,619	5,277,019

※補正予算の主なもの、災害復旧工事費や左沢駅前再整備に係る用地取得費などです。  
※前年度繰越額の主なもの、道路改良事業や橋梁補修事業などです。

## ◆歳入内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入済額	割 合
町 税	768,442	775,598	100.9
町 民 税	323,212	324,300	100.3
固定資産税	357,845	362,871	101.4
軽自動車税	28,600	29,245	102.3
たばこ税	41,000	41,227	100.6
入 湯 税	400	395	98.8
都市計画税	17,385	17,560	101.0
使用料及び手数料	72,190	68,408	94.8
繰入金、繰越金、 諸収入ほか	888,920	892,781	100.4
地方譲与税	54,000	58,190	107.8
地方消費税交付金	147,000	150,855	102.6
自動車取得税交付金 ほか各種交付金	21,144	25,537	120.8
地方交付税	2,187,797	2,209,138	101.0
国・県支出金	699,526	535,226	76.5
町債（借入金）	438,000	205,400	46.9
合 計	5,277,019	4,921,133	93.3

## ◆歳出内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	支出済額	割 合
議 会 費	83,028	80,376	96.8
総 務 費	1,320,545	1,253,788	94.9
民 生 費	1,113,530	1,065,714	95.7
衛 生 費	222,971	209,151	93.8
農林水産業費	401,978	323,971	80.6
商 工 費	140,103	109,412	78.1
土 木 費	726,715	610,400	84.0
消 防 費	226,885	215,316	94.9
教 育 費	522,314	428,840	82.1
公 債 費 (借入金の返済)	463,595	463,370	99.9
そ の 他	55,355	38,990	70.4
合 計	5,277,019	4,799,328	90.9

※道路改良事業や橋梁補修事業などを翌年度へ繰り越しています。  
※4月～5月の出納整理期間に執行される科目があるため、歳入・歳出ともに予算現額に対して低い割合となっています。

## ◆特別会計

(単位：千円、%)

会 計 名	予算現額	収入済額	割合	支出済額	割合
国民健康保険特別会計	910,000	846,456	93.0	831,900	91.4
後期高齢者医療特別会計	103,106	104,074	100.9	101,101	98.1
介護保険特別会計	1,146,390	1,134,458	99.0	1,006,445	87.8
宅地造成事業特別会計	56,900	56,900	100.0	42,417	74.5
公共下水道事業特別会計	244,500	239,874	98.1	209,443	85.7
農業集落排水事業特別会計	45,033	45,450	100.9	38,673	85.9

## ◆水道事業会計

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入(支出) 済額	割合
収益的収入	247,405	252,191	101.9
資本的収入	39,632	39,632	100.0
収益的支出	247,405	240,678	97.3
資本的支出	97,614	96,236	98.6

## ◆町債（借入金）の状況

(単位：千円)

会 計 名	平成 29 年度末 残高	平成 30 年度 借入額 (見込)	平成 30 年度 元金返済額 (見込)	平成 30 年度末 残高 (見込)
一 般 会 計	5,935,092	413,500	437,887	5,910,705
公共下水道事業特別会計	1,809,731	14,800	142,113	1,682,418
農業集落排水事業特別会計	227,432	0	17,036	210,396
水 道 事 業 会 計	812,980	38,000	34,287	816,693
合 計	8,785,235	466,300	631,323	8,620,212

※平成30年度の借入額、元金返済額、年度末残高は決算見込額としています。



▲今年も可憐な花を咲かせた大山自然公園のヒメサユリ



▲猛暑に見舞われる中、町内外から大勢の方が訪れました



▲管理棟内で開かれた押し花はがき作り体験コーナー

## 5/21~30 初夏を彩るヒメサユリ

今年で18回目となる「大山自然公園ユリまつり」が、5月21日から30日にかけて開催されました。今年は例年に比べ開花がやや遅れたものの、期間後半には見頃を迎え、新緑の大山自然公園にヒメサユリの可憐な彩りがあふれました。

また、週末にはパークゴルフや押し花はがき作りなどの体験コーナーも開設。週末は5月としては異例の暑さとなりましたが、町内外から多くの方が来場し、初夏の自然の心地良さを満喫していました。



## 5/26 チームの絆が奇跡を起こす

第41回町民ソフトボール大会が、5月26日に開かれました。今大会には22チームが参加し、総合体育施設と左沢高校グラウンドの2会場で、4ブロックに分かれてトーナメント戦をおこないました。試合では、大量点差を逆転しての勝利など劇的な展開が何度も見られ、白熱した応援も相まって大いに盛り上がりました。

### 各ブロック優勝チーム

- ◇Aブロック/すわのはら
- ◇Bブロック/深沢A
- ◇Cブロック/小漆川
- ◇Dブロック/藤田A



## 6/1 アツアツ焼きたてパンは格別!

「ぶくらすカレッジ」の講座の一つ、「ドキドキ!!自然体験塾」が、6月1日に大山自然公園でおこなわれました。今回は町内の小学生24人が参加し、竹の棒にパン生地を巻き付けて焼き上げる「竹パン」作りに挑戦しました。

子どもたちはスタッフのアドバイスを受けながら、薄力粉や砂糖、卵黄などを材料に生地を練り、竹に巻いた生地を炭火でじっくりと焼いていきました。炭火の熱さにてこずりながらも、焼き目が付いておいしそうな香りが漂ってくると「焼けた焼けた!」と大喜びしていました。

**競技結果** ※各種目優勝者のみ

◇100メートル走			
5年男子	横山 偉士 (本郷東)	15秒6	
5年女子	渋谷 妃奈 (左 沢)	17秒0	
	鈴木 杏 (本郷東)	17秒0	
6年男子	菊地 逢乃 (左 沢)	14秒7	
6年女子	菊地 海咲 (左 沢)	16秒0	
◇70メートルハードル			
5年男子	横山 偉士 (本郷東)	12秒7	
5年女子	菅野 幸夏 (左 沢)	14秒2	
6年男子	菊地 逢乃 (左 沢)	12秒2	
6年女子	鴨田 七海 (左 沢)	13秒4	
◇走り幅跳び			
5年男子	菊地 海吏 (左 沢)	3m10cm	
5年女子	渋谷 妃奈 (左 沢)	3m15cm	
6年男子	櫻井 佑樹 (左 沢)	3m32cm	
6年女子	鴨田 七海 (左 沢)	3m39cm	
◇ソフトボール投げ			
5年男子	奥山 空悟 (本郷東)	37m20cm	
5年女子	須貝 紗衣 (本郷東)	24m29cm	
6年男子	高橋 楓 (本郷東)	39m38cm	
6年女子	堀 瞳月 (左 沢)	25m60cm	
◇1000メートル走			
5年男子	公平 翔士 (左 沢)	3分34秒50	
6年男子	伊藤 晃大 (左 沢)	3分37秒26	
◇800メートル走			
5年女子	黒川 一葉 (本郷東)	2分56秒46	
6年女子	保科 愛 (本郷東)	2分54秒99	
◇400メートルリレー			
男子	左沢小学校 6年2組	1分02秒78	
女子	左沢小学校 6年1組	1分04秒33	



**5/15 全力疾走で壁を超える!**

町内の小学生が記録を競う小学校陸上競技大会が、5月15日に左沢小学校グラウンドで開かれました。今大会には左沢小学校と本郷東小学校の5・6年生合わせて114人が参加し、トラック競技とフィールド競技に出場。好天に恵まれた絶好のコンディションの中で、それぞれ自己記録更新を目指して各種目に精一杯取り組みました。

この日最後の競技となったリレーでは、選手たちが渾身の走りと見事なバトンワークで競り合い、チームメイトや保護者の皆さんの声援に答えていました。



**5/12 子育ての楽しさが満載!**

子育てサークルMippe (代表・佐竹志穂さん・下北山) 主催の「春物・夏物おさがり交換会」が、5月12日に中央公民館町民ホールで開催されました。この交換会は、各家庭の子ども服やおもちゃなどを活用して子育ての楽しさを広げようと企画されたもので、今回が3回目となります。

このほか、会場ではハイハイレースなどのイベントやマルシェも開かれました。この日は開場直後から大勢の来場者が詰めかけ、ホールがいっぱいになるほどのにぎわいとなりました。



左沢小学校校庭でおこなわれた大江町小学校恒例の陸上記録会の町長あいさつ、立っている場所がそうさせたか、思慮分別配慮に欠けたか、「左沢小学校の子どもたちにどんなあいさつをするか考えてきました……」と、本郷東小学校の子どもたちを忘れてしまったような言葉になっていた。話が終わってからある方に優しくご指摘をいただいたので、気が付いた。反省はいつも後からやってくるが、言ってしまうからではどうしようもない。この広報を借りて本郷東小学校の方々・関係各位にお詫びを申し上げます。生きた言葉を使いたい、魅力あるスピーチをしたい、心の琴線に触れるように語りたい、口から出任せ、他人の言葉のオウム返しのように語りたい、「話」にならない。筋書きを作り、言葉を選び、聞く方々の反応も見極めながら、「うーん、今回の話は合格点だな」と思えるのは百回に一回あれば良い方だ。ああ言うんじゃないかな、あの部分にはこう言う方が良かったな、本当に言いたかったこととは違っていたな……、反省というべきか、振り返りの類となるか、後悔をしない話し方は永遠の課題、いつになったら完成するやら知る術はない。読む・書く・聞く・話すの言葉の4つの完璧は、ひょっとして無いのかもしれない、と思っている。ましてや外国語となればどうなることやら、一つひとつの言葉の意味を寸分狂わぬように吟味した後の完璧な文章を求められたらどうしようか、どうなるであろうか、思考の範囲を超えているようにも思う。「心と意思」を重ねた言葉の美しさも捨てがたいから。22日から23日の1泊2日の日程で大江中学校の2年生全員が東京の英語合宿に向かうという。英語漬けの2日間、言葉は度胸だ、愛嬌だ、失敗間違い当たり前、使ってみなけりゃ、食べてみなけりゃ分からない、と楽しい時間になりますように、あまり頑張らないで頑張ってみたらいかげんか、お土産話を聞かせてください。

陸上記録会を終えて帰る子どもたちに会った。明るいあいさつと満足そうな笑顔の子どもたちに、「ごめんさい、気を付けます」と車の中でつぶやいて、頭を下げ、大きな声で、Everything is alright (万事オライだ)、と叫んだ。猛暑が多い、令和は暑い時代かも。

大江町長 渡邊 兵吾

## 地域おこし協力隊通信

No.53



大江町に移住し、あっという間に半年が過ぎました。まだまだ「初めまして」のことが多く、毎日勉強させていただいています。5月から小学生向けの料理教室「ニコニコクッキング」の講師をしています。町内で採れた食材やパンを使った手軽に作れる料理をテーマに全6回開催します。第1回の料理は「ポケットサンド」。食パンに切り込みを入れてポケットを作り、その中に具材を詰めます。今回はタマゴサラダとチョコバナナを詰めました。切り込みを入れる作業が難しく苦戦していましたが、みんなで協力しておいしい「ポケットサンド」ができました♪ 今後もおいしく楽しいレシピでみんなとクッキングをしていきたいと思います!♪

地域おこし協力隊 須藤 和



▲「ポケットサンド」おいしくできました!

### 短歌

月山に笠の踊子現れて田植の時を知らせたりけり 長岡かつ子  
 袖ちゃん令和元年五月の七日産声あげし愛し曾孫よ 佐竹磨砂湖

楯山に登りて望む最上川我がふるさとの美しきかな 柳川 次郎

子供なき母の実家は途絶えけり施設の叔母にようやく伝える 山家 重之

学校の児童の声も聞こえ来る畑地にも獣捕獲の罫置かれ 菊地つねよ

逝く旅路いづれは何時か火葬炉の鉄扉の奥は花の浄土か 佐竹 興鼓

文盲の人多き明治十五年の屋台修理の辞は漢文なりし 斎藤 徳治

### 俳句

風薫り平成去りて令和なり 鴨田富士夫

夕餉すみふらりと下駄を蹴月 阿部 一風

柏澗淀む川面の花筏 柳川 次郎

本を読む生徒も我も更衣 山家 重之

新瀉のホーム白波更衣 熊谷 勉

一望の畑一望にさくらんぼ 舟山 三男

アカシヤの花に夕日の最上川 伊藤 啓泉

## 吟遊浪漫

ぎんゆ うろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



YOUTHFUL  
トーク

大学では農学部在籍し、食や農業に関わる仕事を希望していたという阿部さんは、山形市内の食品会社勤務を経て、今年4月から町土地改良区の職員となりました。農地や用排水路を管理するための現場での仕事のほか、書類作成などデスクワークもこなしています。

「農業の基盤に関わる仕事に喜びと責任を感じています。多くの町民の方とお会いするこの仕事は、ためになる話を聞けるので勉強になります」

体を動かすのが大好きで、小学生のころからさまざまなスポーツを経験してきたという阿部さん。高校時代にはハンドボール部の一員として見事県大会優勝を果たしました。今も町のソフトボール大会に参加しているほか、サッカーなどの試合観戦にも出掛けているそうです。

仕事の上では、地域の方々との信頼関係が一番大事だと考えている阿部さん。「しっかり仕事を覚えて、町の農業を守っていけるようにしていきたいですね」と意欲を燃やしていました。

阿部 杏亮さん (27歳・藤田)

変わらず続く農業への思い

シリーズ企画

# 月刊 仲間とエンジョイ! No.26

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

## 愛唱会

子どものころにみんなで歌った、思い出深い童謡や唱歌。今では学校でも歌う機会が減ってしまって、さみしい限り。それなら私たちが歌うことで、少しでも童謡や唱歌の楽しさを広めていければ——愛唱会が生まれたのは、そんなお茶飲み話がきっかけだったといいます。

平成20年に発足した愛唱会は、現在22人の会員で活動中。月に一度ふれあい会館に集まり、懐かしい童謡や唱歌を一緒に歌っています。音程が多少違っていても気にせず、歌を楽しむことが会のモットーです。また、往年の歌の魅力を知ってもらうため、町のひなまつりコンサートでも歌を披露しています。会員は随時募集中。夫婦一緒での参加も大歓迎です。



▲愛唱会の皆さん



▲懐かしい唱歌や童謡を毎回楽しく歌っています

# お知らせ

## Information

### 町誕生60周年記念事業 若者の地域づくり事業を支援します

◆補助対象／町内を主たる活動の拠点とする40歳未満の若者3人以上の団体やグループによる、「大江町誕生60周年記念事業」という趣旨を十分に反映した創造的・独創的な企画をおこなう事業

◆補助内容／他の制度による補助金を受けていない団体を対象とし、100万円を上限に補助対象経費の10割を補助

◆申込期限／6月28日(金)  
 ※審査のうえ、交付を決定します。  
 政策推進課政策推進係 ☎(62)2118

紙おむつ購入の指定事業者が追加されました

要介護3から要介護5の認定を受け、在宅またはグループホーム入所で寝たきり状態や失禁状態の方などを対象に、紙おむつ購入引換券を支給しています。6月1日から新たに(株)ヤマザワ薬品ドラッグヤマザワ

左沢店でも引換券の利用が可能になりました。

併せて、障害児・者で紙おむつ購入引換券の支給を受けている方も同店で購入できます。

※一久薬局、(有)古川ケアマネージメントでも引き続き紙おむつ購入引換券がご利用いただけます。

健康福祉課福祉係 ☎(62)2285  
 海外研修や留学の交通費を補助します

おおい国際交流協会では、地域の活性化に貢献できる人材を育てるために「海外研修事業補助制度」を設けています。夏休み中の海外留学やホームステイなども補助対象となりますので、ぜひご利用ください。

◆対象者／町内に住所があり、現在居住している方(修学のためやむを得ず町外に居住する学生も含む)

◆補助金額／交通費の2分の1以内(限度額は1人20万円・小学生の場合は1人10万円)

※原則として研修実施の1カ月前までに申請書の提出が必要です。

※対象となる研修など、詳細についてはお問い合わせください。

政策推進課政策推進係 ☎(62)2118

### 通行規制のお知らせ



- ◆路線名／県道天童大江線
- ◆場所／左沢地内
- ◆規制期間／6月17日(月)～12月27日(金)(予定)
- ◆時間帯／8時半～17時  
 時間帯片側交互通行
- ☎山形県西村山道路計画課(発注者)  
 ☎(86)8411  
 国井建設株式会社(施工者)  
 ☎(86)4165  
 建設水道課建設係 ☎(62)2116

### 新規で狩猟免許を取得する方を支援します

- ◆対象／狩猟免許取得後に町猟友会と鳥獣被害対策実施隊に加入し、町の有害鳥獣対策にご協力くださる方
  - ◆助成内容／狩猟免許試験に向けた講習会の受講料、および狩猟免許試験受験料を全額補助
  - ◆日程／
- |    | 講習会      | 試験       |
|----|----------|----------|
| 村山 | 8月11日(日) | 9月7日(土)  |
| 置賜 | 7月27日(土) | 8月24日(土) |
| 庄内 | 6月22日(土) | 7月13日(土) |
| 最上 | 8月17日(土) | —        |
- ※わな猟免許のみ、9月20日(金)に村山総合支庁で試験をおこないます。
- ※申込期限など、詳細はお問い合わせください。  
 農林課農政係 ☎(62)2115

### 第19回最上川ゴムボート川下り大会

- ◆期日／7月14日(日) ※小雨決行
- ◆受付／中山町せせらぎ公園(長崎大橋付近) 7時20分～8時
- ◆開会式／ふれあい会館 8時50分から、スタート10時
- ◆内容／タイムレース(全長11kmのうちレース区間4.2km)
- ◆参加資格／2人1組で小学校3年生以上の泳げる方(未成年者は保護者の同意が必要。中学生以下は大人と一緒になければ出場できません)
- ※ゴムボート、オール、救命胴衣持参(一式500円で先着24組分の貸出あり)
- ◆参加料／1組2,000円
- ◆申込期限／6月21日(金)必着(先着50組)
- ※申込書を郵送またはFAXで大会事務局へ(申込書は役場建設水道課に準備)
- ※飲酒禁止・持参するゴムボートは十分に事前点検をお願いします。
- ※町ホームページに大会要項がありますのでご確認ください。
- ☎大会事務局(中山町建設水道課)  
 ☎023(662)2116  
 FAX023(662)5176  
 大江町建設水道課管理係 ☎(62)2116

## 重度心身障害(児)者医療制度 ひとり親家庭等医療制度

一定の障害をお持ちの方や母子家庭・父子家庭などのひとり親家庭の方に、医療費の一部を助成しています。

助成を受けるためには医療証の申請が必要です。現在医療証をお持ちでない方で下記要件に該当すると思われる方は、お問い合わせください。

※現在医療証をお持ちの方には、更新の案内を郵送していますので、ご確認ください。



☎ 税務町民課国保医療係 ☎(62)2291

	重度心身障害(児)者医療	ひとり親家庭等医療
内容	医療費の自己負担が1割または無料になります。 (保険適用分のみ)	医療費の自己負担が無料になります。 (保険適用分のみ)
対象者	①身体障害者手帳1・2級 ②精神障害保健福祉手帳1級 ③公的年金各法の障害等級1級相当 ④療育手帳A ⑤特別児童扶養手当1級 ①～⑤のいずれかに該当する方で町民税所得割額が235,000円未満の方 ※16歳未満の被扶養者がいる場合1人につき33万円、16歳以上19歳未満の被扶養者がいる場合1人につき12万円を所得から控除した額で再計算した場合、町民税所得割額が235,000円未満になる方は対象になります。	①ひとり親家庭の母または父で、所得税非課税の方およびその方に扶養されている18歳以下の子ども(父母が就労などで収入を得ていること) ②所得税非課税の方に療育されている両親のいない18歳以下の子ども ※16歳未満の被扶養者がいる場合1人につき38万円、16歳以上19歳未満の被扶養者がいる場合1人につき25万円を所得から控除した額で再計算した場合、所得税が非課税になる方は対象になります。 ※求職活動中の方や傷病、または家族の介護のために就労が困難な方も対象になります。
申請時の持ち物	・印鑑 ・保険証 ・対象となること確認できるもの(身障者手帳・年金証書など)	・印鑑 ・保険証 ・父母が就労していることが確認できるもの(保険証・就労証明書など)

7月は「社会を明るくする運動」  
強調月間・再犯防止啓発月間です

7月1日(月)7時15分から役場正面  
玄関前で「社会を明るくする運動」キ  
ャパン出発式をおこない、その後JR  
左沢駅と大江中学校で非行防止などを  
呼びかけます。ぜひご参加ください。  
☎ 第69回「社会を明るくする運動」  
大江町推進委員会事務局  
(健康福祉課内) ☎(62)2285

7月は「河川愛護重点運動期間」  
県内河川一斉清掃をおこないます

県内河川一斉清掃を実施しますの  
で、皆様のご協力をお願いします。  
◆日時/7月7日(日)6時から  
※小雨決行(雨天および河川の増水  
で危険な場合7月13日(土)に変更)  
◆場所/最上川、月布川、小清川、  
大瀬川河川敷(清掃は1時間程度)  
☎ 建設水道課管理係 ☎(62)2116

大江町やまがた地鶏食鳥処理施設  
指定管理者を募集します

今年11月から大江町やまがた地鶏  
食鳥処理施設を管理運営していただ  
く指定管理者を募集しています。応  
募要件などの詳細については、町ホ  
ームページ掲載の募集要項をご覧く  
ださい。  
☎ 政策推進課起業推進係  
☎(62)2139

6月23日～29日は  
「男女共同参画週間」です

キャッチフレーズは「男女共同参  
画週間」。「知る 学ぶ 考える 私  
の人生 私がつくる」です。「男女  
共同参画社会」を実現するために、  
この期間に男女のパートナーシップ  
について考えてみましょう。  
☎ 政策推進課政策推進係  
☎(62)2118

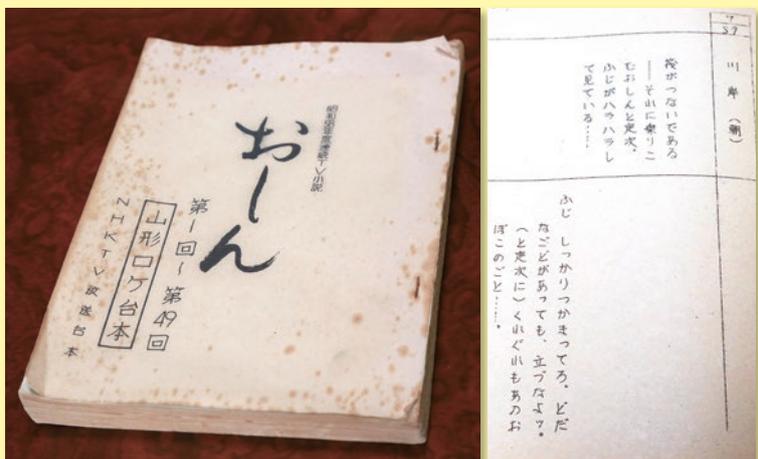


しかし、十進法が  
世界的に生活のベ  
ースとなったのは、  
人類の長い歴史か  
らみれば比較的最近  
のことであり  
……ああ、スパー  
スがない。また来  
月。(伊藤智治)

60周年。700号。キリの良い  
数字が並ぶと気分が良いもので  
す。このような節目を迎えられたのは、  
各時代における先人の並々ならぬ努力  
の結晶が、年輪のように積み重ねられ  
てきた結果だといえるでしょう。  
それにしても、なぜ人間はキリの良  
い数字に心惹かれるのでしょうか。「キ  
リ」とは「切り」、つまり切れ目のこ  
とであり、ゼロで終わる数字を区切り  
とするのが効率的であることを本能的  
に知っているからなのかもしれません。

# 思い出の No.44 まいぞうひん My蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲NHKドラマ「おしん」台本の原本。本町で撮影された感動のシーンも描写されています



▲出演者などのサイン色紙と、関連番組を収めたビデオテープ



▲「滅多にできない体験だったので、楽しかったです」と話す大沼さん

昭和57年、NHKのスタッフが町内の視察に訪れました。当時、町の商工観光係だった私も案内のため同行しましたが、それが朝の連続ドラマ「おしん」のロケの下見だったことが分かったのは、もっと後になってからでした。

翌年、町内でロケがおこなわれ、商工観光係だけでなく、農政や林政の担当など多くの町職員が撮影に協力しました。あの年は雪が少なく、積もった雪に見せかけるために職員がテーブルクロスを被ってうずくまっていたなど、いろいろな苦労話があります。若手の職員は、打ち上げの時に主演の田中裕子さんにお酒を注いでもらって大喜びしていましたね。

「おしん」は日本だけでなく73カ国で放送されるなど、世界的に大人気の作品となりました。当時は予想もしなかったことですが、そんな名作に協力できたことを嬉しく思います。  
(9区 大沼久子)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？  
懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。  
総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

4月21日～5月20日受付分

お誕生おめでとう				
区名	氏名	性別	父母名	
柳川平	石坂碧都 <sup>あおと</sup>	男	康平・千秋	
藤田	安孫子明果 <sup>めいか</sup>	女	博司・志保	
藤田	鹿股ゆい	女	桂一・明子	

ご冥福を祈ります			
区名	氏名	年齢	
藤田	富樫ヨソエ	(98)	
10区	安彦浩治郎	(87)	
塩野平	渡邊信男	(85)	
9区	林裕子	(85)	
藤田	尾形清左衛門	(92)	
荻野	高取和彦	(72)	
藤田	竹内貞一	(85)	
深沢	菊地康雄	(87)	
堂屋敷	工藤清	(67)	
小見	公平徹	(83)	
6区	神保老ゑ子	(93)	
2区	佐藤保	(92)	



人口と世帯(前月比)	
町の人口	8,126人(-31)
男	4,060人(-16)
女	4,066人(-15)
世帯数	2,910戸(-2)
令和元年6月1日現在	

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。